

# 次世代放射光施設 シンポジウム

2018年11月25日（日） 13:00~17:15

仙台国際センター 大会議室「萩」

主催：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

一般財団法人光科学イノベーションセンター

共催：宮城県、仙台市、東北大学、（一社）東北経済連合会

後援：文部科学省、（一社）日本経済団体連合会

日本放射光学会、日本加速器学会

本年1月に「官民地域パートナーシップ」による次世代放射光施設の具体化等を進める「整備・運用の検討を進める国の主体」として、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（「量研」）が指名され、7月には一般財団法人光科学イノベーションセンター（「財団」）を代表機関とし、同財団、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、及び一般社団法人東北経済連合会が、地域及び産業界のパートナーとして選定されました。このような背景のもと、9月12日、量研と財団との間で、「次世代放射光施設（軟X線向け高輝度3 GeV級放射光源）の整備・運用に係る詳細の具体化に関する連携協力協定」を締結しました。本協定の締結を受け、この度、量研と財団の共同主催により、「次世代放射光施設シンポジウム」を開催する運びとなりました。



連携協力協定署名式の様子：左から、東北経済連合会向田副会長、東北大学矢野理事、村井宮城県知事、高田光科学イノベーションセンター理事長、平野量子科学技術研究開発機構理事長、山脇文部科学省文部科学審議官、高橋仙台市副市長（平成30年9月12日、文部科学省にて）

13:00 主催者挨拶、ご来賓挨拶、写真撮影

セッションI 官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設とは

13:50 「官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設概要」

14:10 「イノベーションエコシステムの中核としての施設設計」

14:30 「学術研究の推進役としての東北大学の役割」

内海 渉 量研 高輝度放射光源推進準備室 室長

高田昌樹 （一財）光科学イノベーションセンター 理事長

早坂忠裕 東北大学 理事

セッションII 次世代放射光施設の準備状況

14:55 「低エミッタンス安定光源の設計合理化」

15:10 「青葉山新キャンパスでの建設計画について」

15:25 「次世代ビームの性能を最大限活用する光源戦略」

15:40 「次世代のビームラインが拓くサイエンス」

田中 均 量研/理化学研究所 放射光科学研究センター 副センター長

鈴木一広 （一財）光科学イノベーションセンター 部長（建設担当）

高橋正光 量研 放射光科学研究センター グループリーダー

有馬孝尚 東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点 連携機構長

セッションIII 次世代放射光施設への期待

15:55 「学術と産業界が共創する場としての期待」

16:25 「ゴム産業からの次世代放射光への期待～将来の高分子先端材料開発に向けて～」

財満鎮明 名古屋大学副総長/応用物理学会長

角田克彦 （株）プリチストン 先端材料開発本部 フェロー

16:55 「次世代放射光とリサーチコンプレックスがもたらす経済効果」

向田吉広 （一社）東北経済連合会 副会長

17:10 閉会挨拶

17:30 懇親会・名刺交換会

仙台国際センター



お問い合わせ先：

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

高輝度放射光源推進準備室 シンポジウム事務局

E-mail：3GeV-registration@qst.go.jp

